

豊かさを実感できる社会に必要なものとは？ —地方都市からの視点—

IT会計ビジネス科

渋谷咲良

担当教員 原田文規

本研究と関連するSDG s 項目



- ジェンダー平等を実現しよう
- 産業と技術革新の基盤を作ろう
- 人や国の不平等をなくそう
- 平和と公正をすべての人に



1 研究動機

- 日本を礼賛するテレビ番組をよく見かける。



- 海外から礼賛されている日本は本当に豊かさを実感できる国なのか？



- 国内ではジェンダーギャップや地方と大都市とで格差がある。



- 豊かさを実感するために必要なものは何か？

2 現代日本の経済・社会状況1

2-1 経済面

GDP

- ・ 2010年から2021年のGDP（国内総生産）の世界ランキングは1位がアメリカ合衆国、2位は中国、3位が日本という順位が続いている。

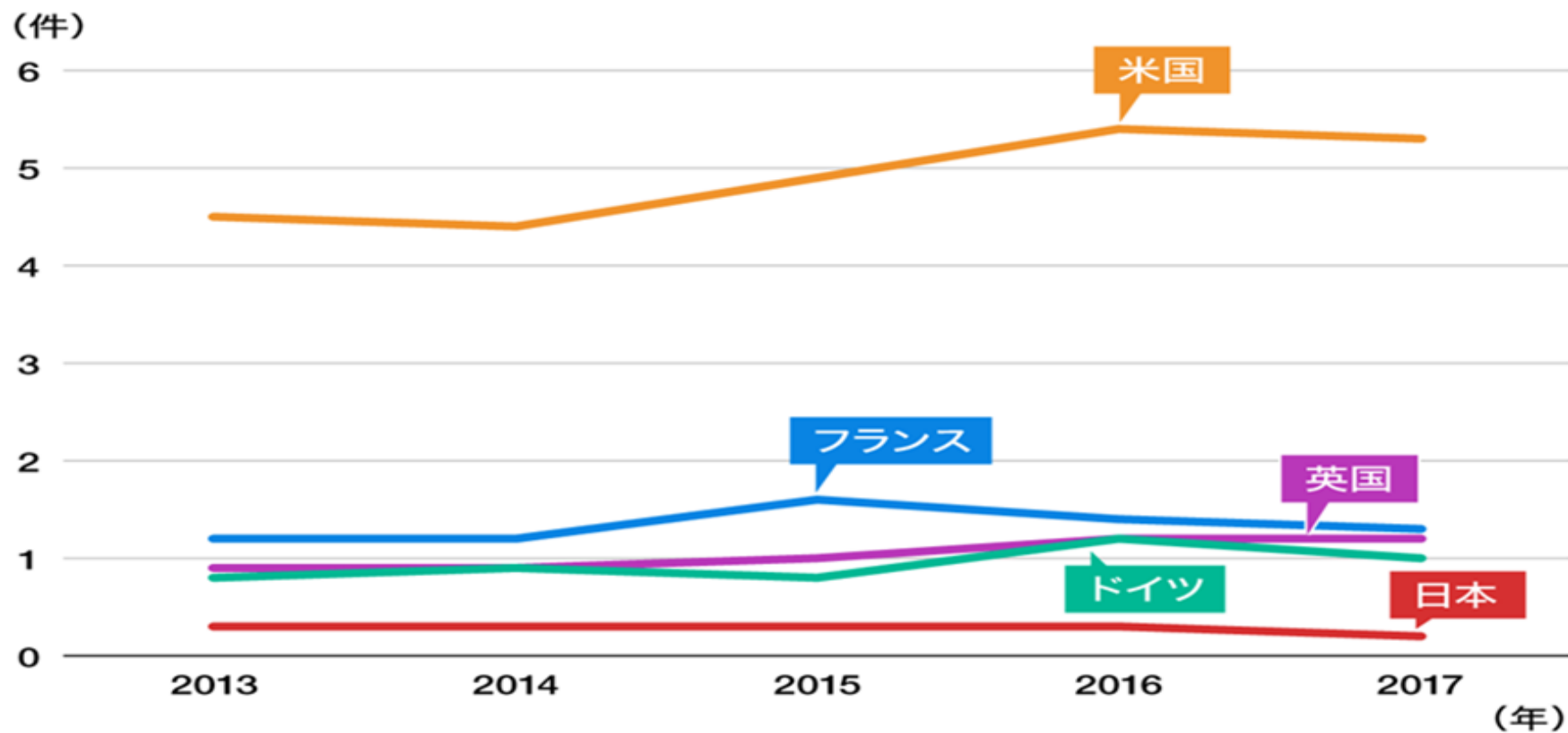
対外純資産

- ・ 2020年の対外純資産ランキングでは、日本が1位（356兆9700億円）、2位にドイツ（323兆4659億円）で、3位は香港（223兆913億円）という順位だった。

2-2 治安の良さ

図表1：殺人発生率

主要国の殺人発生率(人口10万人当たり発生件数)



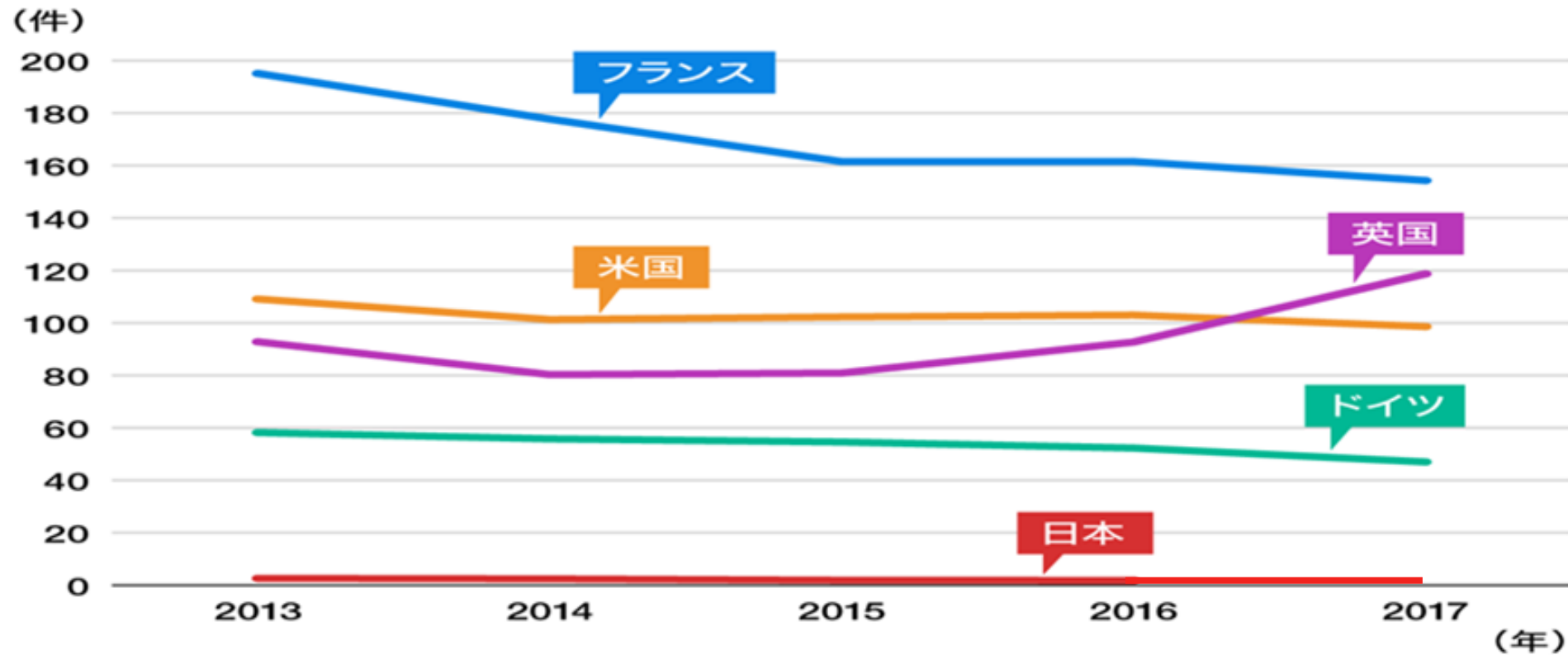
出所：犯罪白書

nippon.com

2-2 治安の良さ

図表2：強盗発生率

強盗発生率(人口10万人当たり発生件数)



出所：犯罪白書

nippon.com

<https://www.nippon.com/ja/japan-data/h00888/>より抜粋

2-3 質の高い豊富な労働者の存在

- 成人の「読解力」「数的思考力」「ITを活用した問題解決能力」に関して調査が行われた。（2011～2012）
- OECD加盟国の22か国を中心に24か国の成人が対象。
- 「読解力」と「数的思考力」が第1位
- 質の高い労働者が豊富に存在している。

3 現代日本の経済・社会状況2

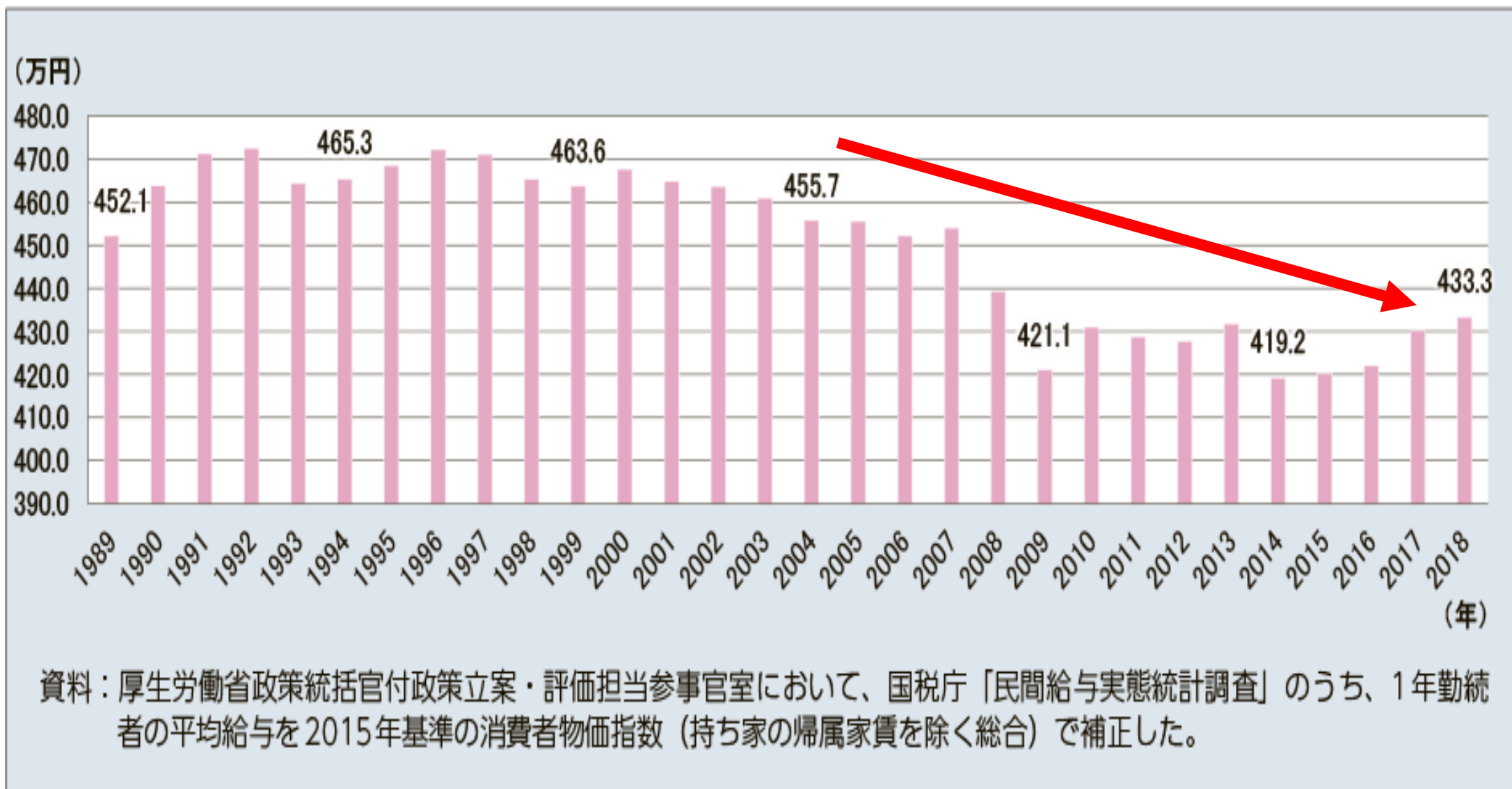
3-1 世代間格差

図表3：二人以上の世帯の年代別貯蓄額と中央値

年代	平均貯蓄額	中央値
20代	165万円	71万円
30代	529万円	240万円
40代	694万円	365万円
50代	1194万円	600万円
60代	1635万円	650万円
70代	1314万円	460万円
全体（2人以上世帯）	1139万円	419万円

- 20代→勤続年数が短い
- 20～40代→子供の教育費やローン返済等
- 50・60代→老後のために貯蓄。
- 70代から→年金で賄うことができない分を貯蓄から崩す

図表4：平均年収の推移



3-2 地域間格差

図表5：都道府県別年収ランキング

順位	都道府県名	年収額
1	東京都	595万2400円
2	神奈川県	536万9700円
3	愛知県	513万3800円
4	大阪府	504万2400円
5	京都府	490万600円
42	山形県	386万8400円
47	青森県	366万7900円

- 昼夜間人口比率

東京都：120%（約240万人が流入）

神奈川県：90%（約80万人が流出）

埼玉県：87%（約80万人が流出）

千葉県：88%（約60万人が流出）

1位と最下位とでは
200万円以上
差がある。

3-3 ジェンダーギャップ指数

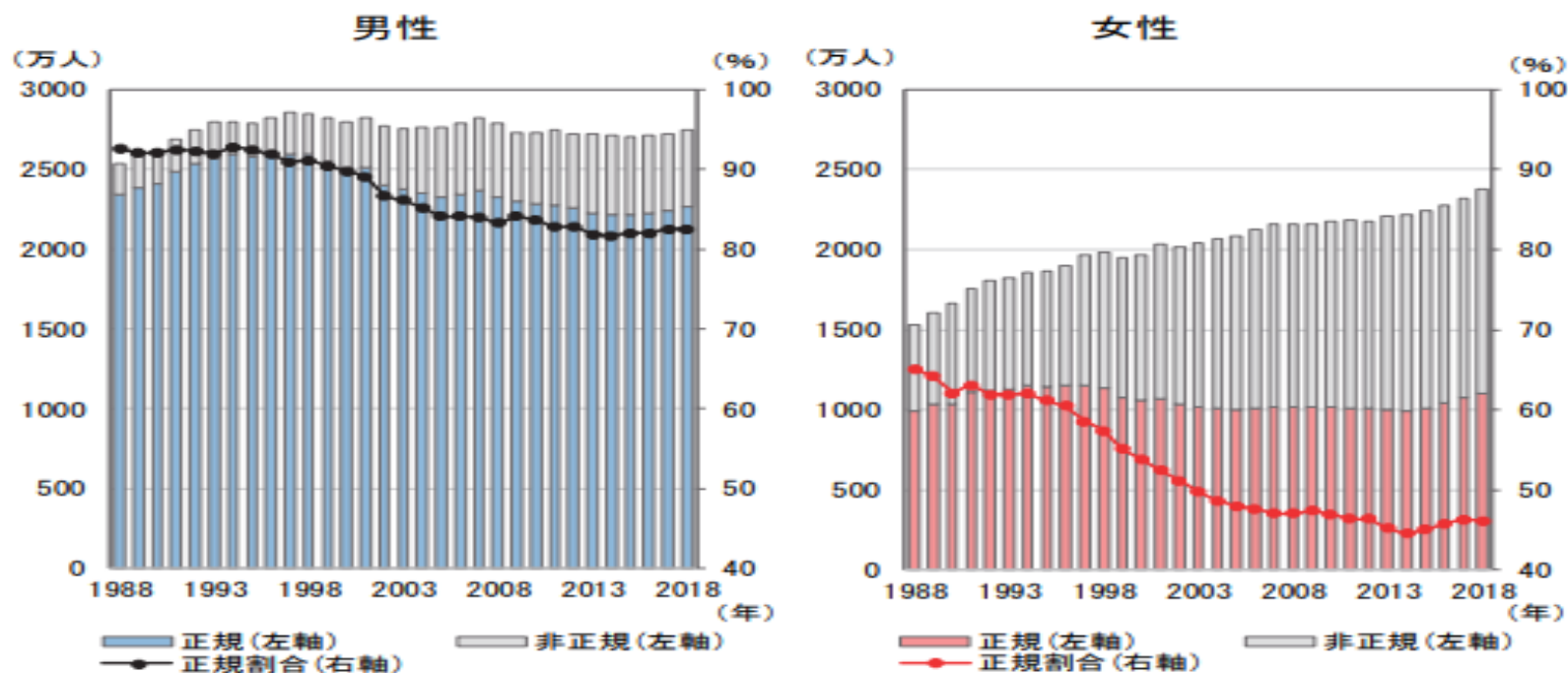
- ジェンダーギャップ指数は男女格差を表している。
- 経済・政治・教育・健康の4つの分野で評価される。
- 「1」に近いほど格差がなく、「0」に近いほど格差がある。
- 日本は0.656ポイントで153か国中120位で先進国で最低レベル。
- 1位はアイスランドの0.892ポイント。日本にかなり差をつけており、格差がないといえる。

女性役員の割合

- 日本の上場している3730社のうち1959社が女性役員が一人もいない。（2019年4月期～2020年3月期）
- 上場企業の役員全体に占める女性役員は6%にすぎない。（2019年4月期～2020年3月期）
- 国会議員全体に占める女性議員の比率も10%にとどまっている。（2018年時点）

非正規雇用者の割合

図表6：男女別の正規、非正規雇用者数及び正規雇用割合の推移



- (注) 1. 棒グラフ(単位は左軸)は正規雇用者数と非正規雇用者数を、折れ線グラフ(単位は右軸)は役員を除く雇用者のうち正規雇用者の占める割合を示す。
2. 男女とも65歳以上を除く。
3. 2001年までは総務省「労働力調査特別調査」による各年2月の数値、2002年以降は同「労働力調査(詳細集計)」による年平均結果の数値である。
(出所) 総務省「労働力調査特別調査」「労働力調査(詳細集計)」より作成

3-4 幸福度

図表7：世界の幸福度ランキング

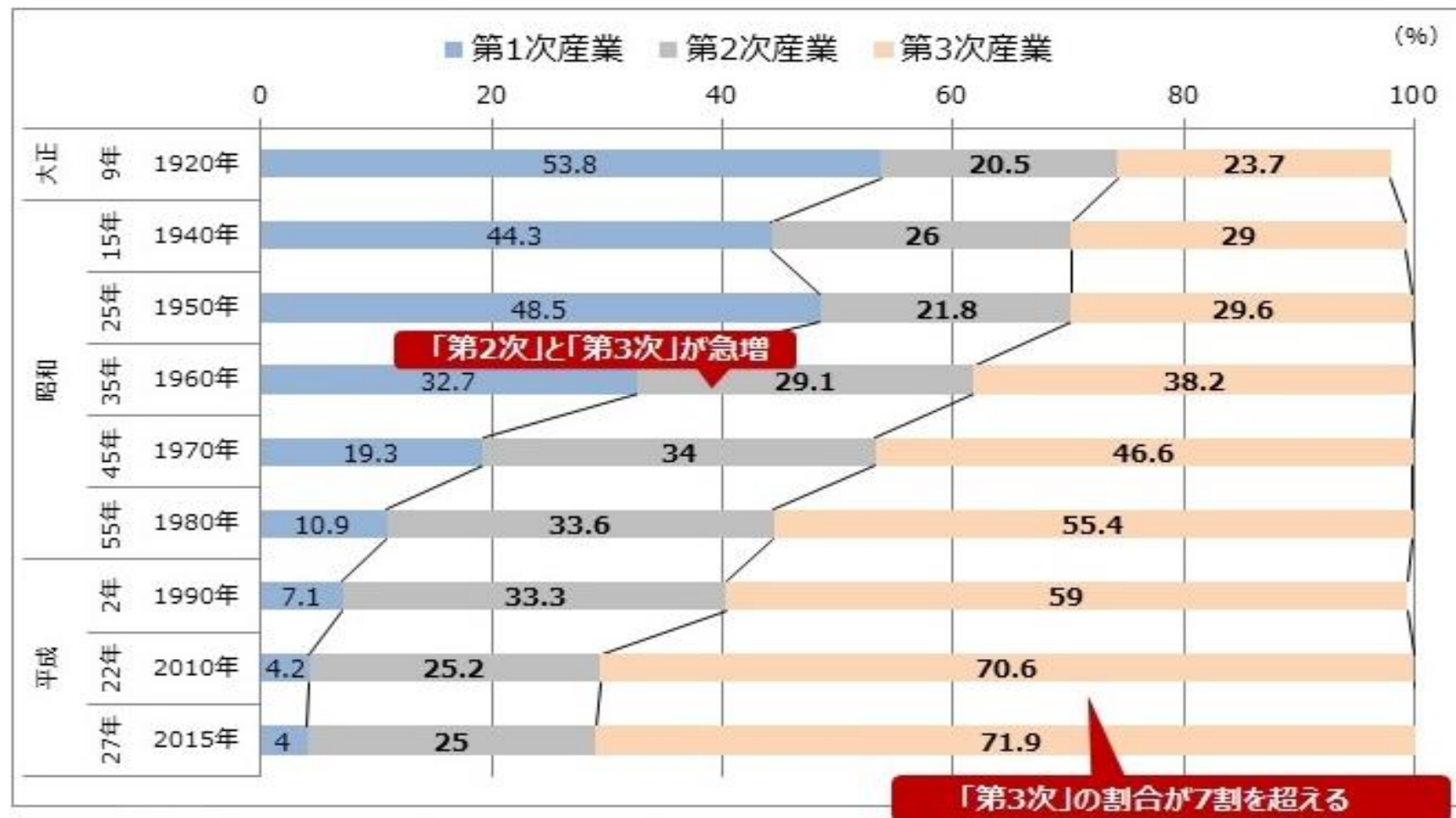
順位	国名	スコア
1位	フィンランド	7.842
2位	デンマーク	7.620
3位	スイス	7.571
4位	アイスランド	7.554
5位	オランダ	7.464
56位	日本	5.940

2021年の幸福度ランキングによると、日本は56位。昨年度の62位から順位を上げている。

4 日本の産業構造について

4-1 産業構造の変化

図表8：1920年から2015年までの産業構造の変化



4-2 産業別付加価値額

- 製造業
57兆9198億円 （前年度比-7.1%減）
- 卸売業
16兆3444億円 （前年度比-2.3%減）
- 小売業
16兆7353億円 （前年度比-1.9%減）

サービス業の付加価値率が低い ➡ 経済全体が成長していない

4-3 サービス業の付加価値率が低い原因について

- 女性の労働参加率が低い
- 女性が活躍できない環境
(女性の活力を充分に取り込めていない)

5 豊かさを実感するために必要なもの

<課題>

- 若者の収入が減少傾向にある。
- 女性が活躍できる労働環境が整っていない。
- 若者（特に女性）の大都市圏への流出率が高い。
- 大都市圏と地方とで雇用の質に差が生じている。

「若者」 × 「女性」 × 「地方」 = 豊かさを実感しづらい

解決策

若者の収入を上げるには

- **最低賃金のアップ**

地方に行くほど最低賃金は低くなっている



地方と首都圏での金銭的な格差を減らすためにも最低賃金を1000円に近づける必要がある。

- **副業可能な企業・職業を増やす**

副業が認められていない＆収入が少ない（生活が苦しい）



本人の体力などを考慮して許容範囲を広げることができればさらなる収入を得られる。

女性が活躍できる社会にするには

・雇用形態の見直し

仕事と育児や介護を両立し、かつ社会復帰をしやすい環境を作る必要がある。



正規雇用として雇い、かつライフステージの変化に対応した制度を設ける。

・男尊女卑の考えをなくすための法律を作る

企業内だけではなく、社会全体として法で定めることにより国全体がジェンダーギャップをなくそうと意識することができる。

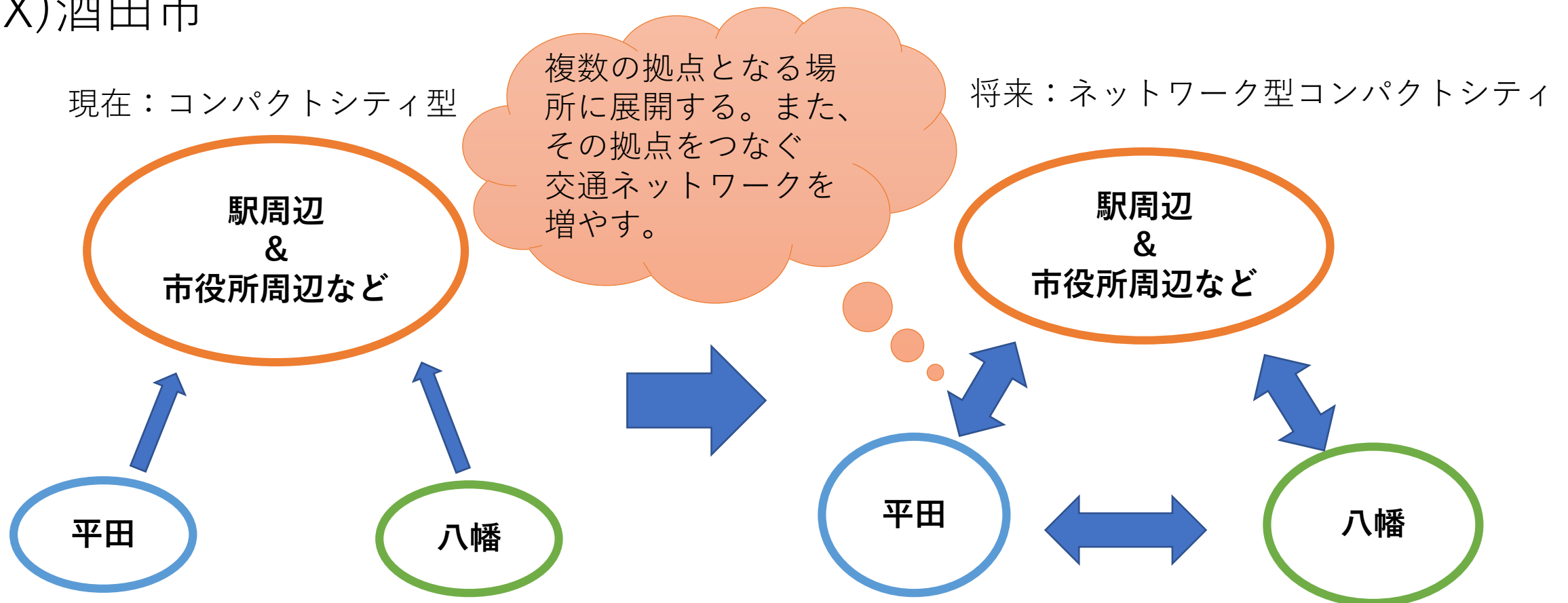
EX) アイスランドのクオータ制の導入など

人口流出に歯止めをかけるには

- 「地域創生」を市の郊外でも展開する。

駅周辺や商店街だけでなく、人口が集中している市の郊外にも展開する必要がある。

EX)酒田市



地方と大都市間での雇用格差

- ・ **地方に本社をおく大企業を増やす**

製造業や医療福祉業以外の産業を増やすことで若者の地元定着を目的とし、さらに事業展開をすることで雇用の安定を図ることができる。

- ・ **テレワークの導入・活用**

地元にいながら首都圏及び他県の会社に勤めることができ、賃金はその企業の相場になるため、比較的高い収入を得られることが期待できる。



地元に残ってくれる若者を少しでも増やすことができる。

地元の主流産業以外の産業にかかわることができる

6 おわりに

全人口の約8分の1を占める**地方の若年女性**が
豊かさを感じることができる



地方ひいては日本全体がさらに豊かさを感じ
られる

7 参考文献

- 産業・労働問題と世代論-「豊かさ」の産業間格差-（藤本 昌代）
- 脱成長社会への展望（河口和幸、崇城大学紀要、第41巻、平成28年）
- 2010-2014年間の世代間格差認識の変化-「高齢者のほうが恵まれている」という認識の広がりには焦点を当てて-（桜井淳平、研究論文）
- 太田肇（2021）「同調圧力の正体」PHP新書
- 鴻上尚史・佐藤直樹（2020）「同調圧力」講談社現代新書
- 加谷珪一（2020）「貧乏国ニッポン」幻冬舎新書
- 竹田恒泰（2011）「日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか」PHP新書
- 上念司（2017）「習近平が隠す本当は世界3位の中国経済」講談社＋α新書
- 三井美奈（2010）「イスラエル ユダヤパワーの源泉」新潮新書
- 早坂隆（2006）「世界の日本人ジョーク集」中公新書ラクレ
- 水本達也（2006）「インドネシア」中公新書
- 黒田勝弘（2020）「反日VS反韓」角川新書

- 池田清彦（2000）「自由に生きることは幸福か」文春ネスコ
- 中島義道（2002）「カイン 自分の弱さに悩む君へ」講談社
- 勝又壽良（2016）「サムスン崩壊 日本からギャラクシーが消える日」宝島社
- 池田信夫（2011）「イノベーションとは何か」東洋経済
- 野中郁次郎・勝見明（2004）「イノベーションの本質」日経BP社
- 山田昌弘（2004）「希望格差社会 負け組の絶望感が日本を引き裂く」筑摩書房
- 中沢夏樹（1999）「日本、ナゾだらけ 海外行ったらこの国が見えた」日本貿易振興会
- 日高義樹（2013）「アメリカはいつまで日本を守れるか」徳間書店
- GDP https://ecodb.net/ranking/old/imf_ngdpgd_2016.html（2022/2/2）
- GDP https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_countries_by_largest_historical_GDP
（2022/2/2）
- 対外純資産 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA24BP20U1A520C2000000/>
（2021/11/11）
- 治安 <https://www.nippon.com/ja/japan-data/h00888/>（2021/11/11）

- 幸福度 <https://elemminist.com/article/1184> (2021/11/20)
- 質の高い労働者
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/data/Others/1287165.htm
(2022/2/8)
- 世代間格差 <https://mcpass.jp/media/article003.html> (2022/2/8)
- 女性役職 <https://diamond.jp/articles/-/250702> (2022/2/8)
<https://www.nippon.com/ja/japan-data/h00409/> (2022/2/8)
- ジェンダーギャップ
<https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2021/202105/20210505.html> (2022/1/19)
- 産業構造 https://chikouken.org/report/report_cat01/9225/
(2022/1/19)
- 付加価値
<https://www.meti.go.jp/press/2020/03/20210331011/20210331011.html>
(2022/1/19)

- 都道府県別年収

https://www.nenshuu.net/prefecture/pre/index_prefecture.php

(2022/1/19)

- 都市部流出 <https://mynaviagent.jp/dainishinsotsu/canvas/2019/10/post-233.html> (2022/2/08)

- SDG s アイコン画像引用先

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/sdgs_icon/ (2022/1/19)

- ネットワーク型コンパクトシティ

https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/_res/projects/default_project/_page/001/009/535/plus01-08.pdf (2022.2.18)

ご清聴ありがとうございました